

奥日光清流清湖フォトコンテスト

入賞作品写真集



奥日光清流清湖保全協議会



はじめに

奥日光は、栃木県日光市の北西部に位置し、風光明媚な地域として知られています。

また、平成17(2005)年には、湯ノ湖、湯川、戦場ヶ原及び小田代原が国際的に重要な湿地であると認められ、「奥日光の湿原」としてラムサール条約湿地に登録されています。

日光市と栃木県では、こうした自然の恵みを守り続けていくため、平成7(1995)年に国や地域団体などの協力を得て「奥日光清流清湖保全協議会」を設立しました。

当協議会では、こうした奥日光水域の豊かで良好な水環境の魅力を発信することを目的として、平成25(2013)年度から令和元(2019)年度までの7回にわたり『奥日光清流清湖フォトコンテスト』を実施してきました。

このたび、当フォトコンテストの入賞作品をより多くの方々にご覧いただきたく、写真集を作成いたしました。写真集をとおして、奥日光の水環境について興味・関心を深めていただき、美しい水環境を将来にわたって引き継いでいく一助となれば幸いです。

奥日光清流清湖保全協議会 会長（日光市長） 大嶋 一生

目 次

奥日光とは 2 ページ

奥日光清流清湖フォトコンテスト入賞作品

湯ノ湖 34 作品 3 ~ 12 ページ

湯川・湯滝 17 作品 13 ~ 18 ページ

戦場ヶ原 2 作品 19 ページ

竜頭滝 15 作品 20 ~ 23 ページ

中禅寺湖 60 作品 24 ~ 41 ページ

華厳滝 6 作品 42 ~ 43 ページ

その他 11 作品 44 ~ 47 ページ

奥日光清流清湖フォトコンテスト入賞作品一覧

..... 48 ~ 49 ページ

奥日光清流清湖保全協議会の取り組み

..... 50 ページ

株式会社伊藤園の取り組み 51 ページ

写真のご利用について
あとがき／協賛／参考文献 等 52 ページ

奥日光とは

奥日光は、日光市の北西部に位置し、東京から奥日光までは約150km離れています。

日光いろは坂をあがりきると、日光市中宮祠に到り、その南に中禅寺湖が広がります。北東には男体山、さらにその先に女峰山がそびえます。中禅寺湖の西側には、千手ヶ浜が広がり、北では東西に伸びる高山の山稜を境にして、その奥に戦場ヶ原や小田代原が広がります。

また、戦場ヶ原の北には、湯ノ湖、光徳沼、蓼ノ湖(たでのうみ)、切込湖、刈込湖などが分布しています。これら日光いろは坂の上の地域を「奥日光」と総称しています。

・ラムサール条約湿地

平成17(2005)年に湯ノ湖、湯川、戦場ヶ原及び小田代原の一部区域で構成される「奥日光の湿原」が、水鳥の生息地など動植物の生態系にとって国際的に重要な湿地である「ラムサール条約湿地」に登録されました。

・栃木の山ベスト5

栃木県内の山では、標高が高い方から、白根山(2,578m)、男体山(2,486m)、女峰山(2,483m)、帝釈山(2,455m)、錫ヶ岳(2,388m)の順であり、奥日光に全てそびえ立っています。



対象区域図



奥日光清流清湖 フォトコンテスト入賞作品

・湯ノ湖 湯ノ湖は奥日光の最上流部、白根山の東麓に位置する天然の「せき止め湖」です。湯元の温泉水やわき水が流入しており、また、ヒメマスなどの格好の釣り場ともなっています。

コカナダモの刈取り

湯ノ湖では水質の保全や景観の保全のため、毎年「コカナダモ」の刈り取りが行われています。コカナダモは外来の沈水植物（体全体が水の中で育つ水草）で、湯ノ湖では昭和48（1973）年に初めて確認され、それ以降急速に生育範囲を広げました。

コカナダモは春から秋にかけて「富栄養化（ふえいようか）」の原因となる窒素やリンを吸収しながら成長します。枯れる前にコカナダモを刈取り、湖外で処分することにより、水質保全に努めています。

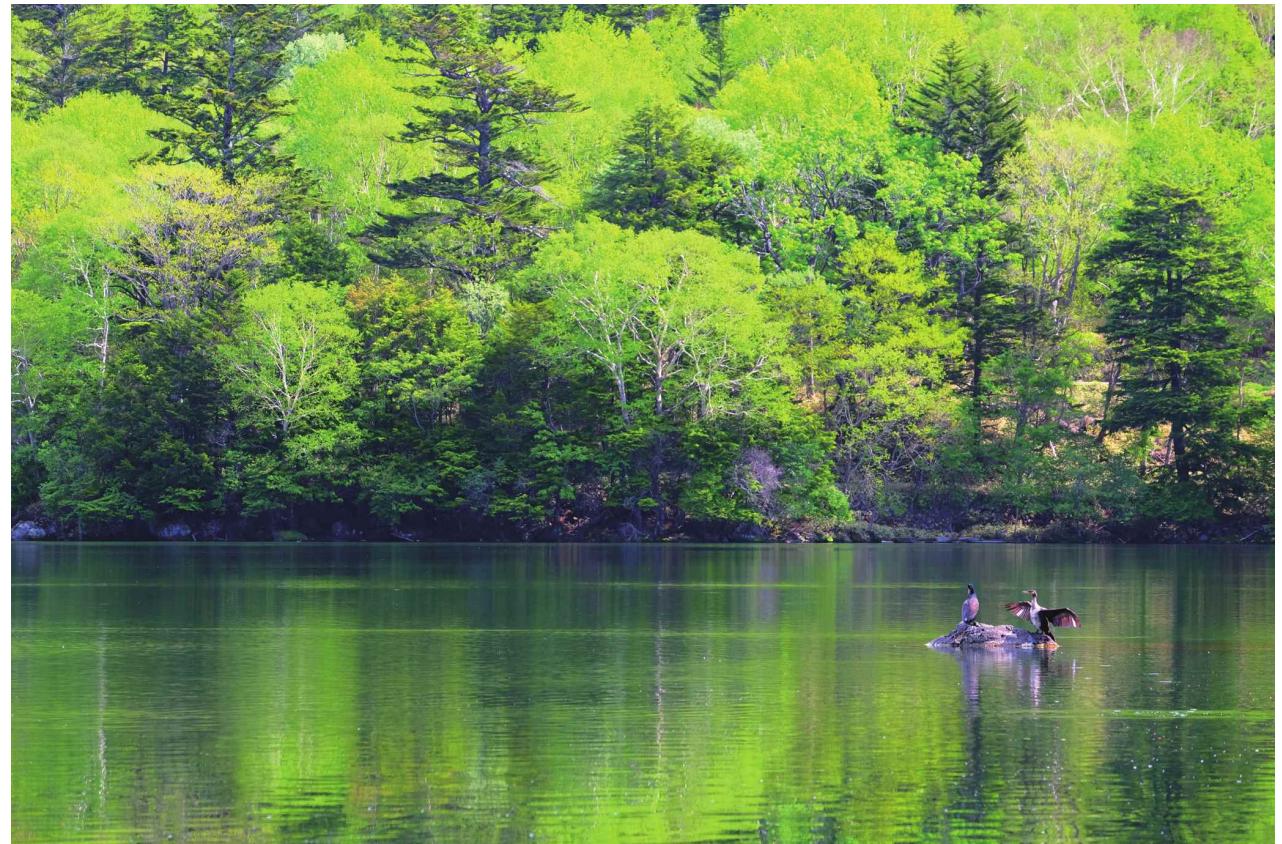
また、近年コカナダモの生息域が減少し、「ヒメフラスコモ」、「カタシャジクモ」、「ツツイトモ」、「ヒメミズニラ」などの希少な在来種が多く確認できるようになってきています。



下水処理場の高度処理

湯元地区の下水を処理する湯元水処理センターでは、湯ノ湖の富栄養化を防ぐため、「高度処理（窒素・リンの除去）」を導入しています。

高度処理を導入してから、コカナダモの刈取りと併せて湯ノ湖の全窒素・全リン濃度は年々減少し、現在は「環境基準」を達成し良好な水質を維持しています。

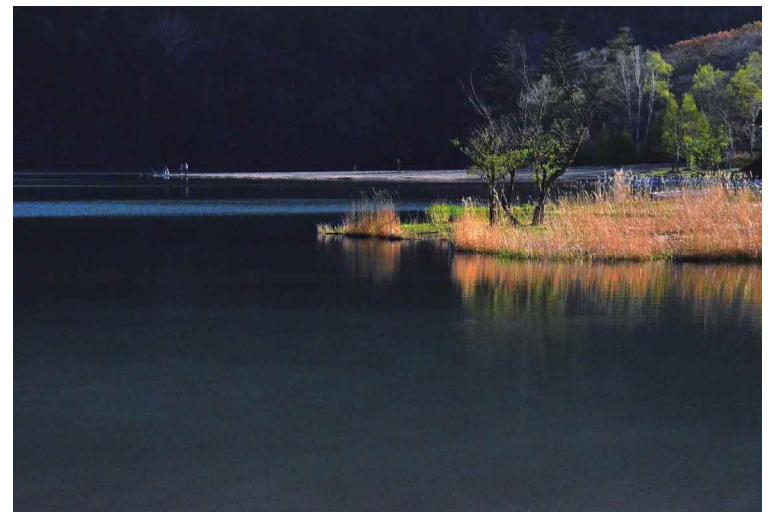


会長賞／新緑に囲まれて
Surrounded by the Fresh Green
(2016年・水沢 成利)

赤潮

台風等の大風により川が増水するとともに濁った水が大量に流入すると、それを養分とする「淡水赤潮（たんすいあかしお）」の原因となる植物プランクトンが大量発生し、湖水が茶褐色になることがあります。

湯ノ湖の場合、植物プランクトンでは「ホシガタケイソウ」や「オビケイソウ」など、動物プランクトンでは「ゾウミジンコ」や「ハリナガミジンコ」などが多く見られます。

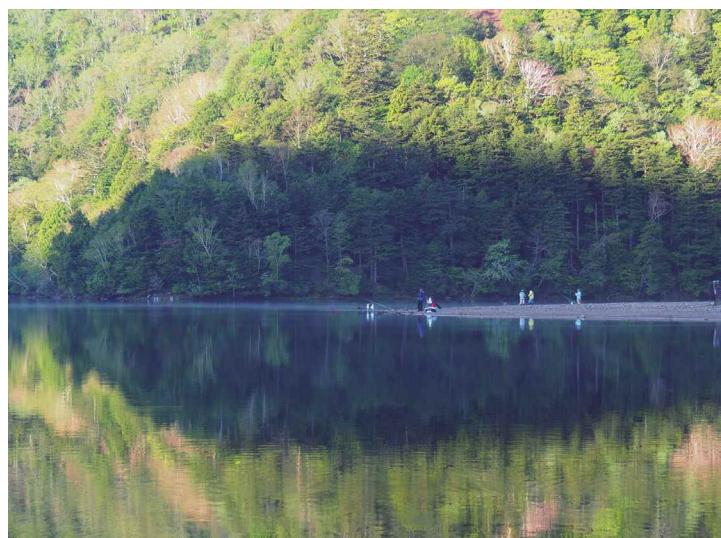


栃木ニコン賞／湖上豊春 (2019年・鈴木 茂男)
Rich Spring on the Lake

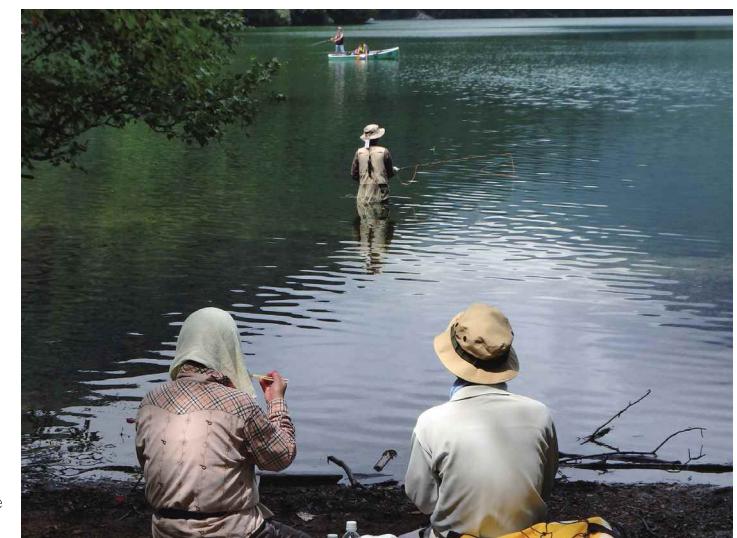


カメラのニシネ賞／瑞々しい夕暮れ Vibrant Twilight
(2019年・武田 正子)

副会長賞／きらめく清命 Sparkling Life
(2019年・鈴木 英子)



栃木ニコン賞／春の旬模様！
Looks Like Spring!
(2015年・楠本 安男)



フジカラー賞／湖畔の太公望
Anglers by the Lakeshore
(2015年・飯村 正雄)



日光市長特別賞／水辺のたわむれ Playing at the Waterfront
(2015年・関矢 昭子)



伊藤園特別賞／湯ノ湖描く Lake Yunoko Portrait
(2014年・関矢 俊夫)



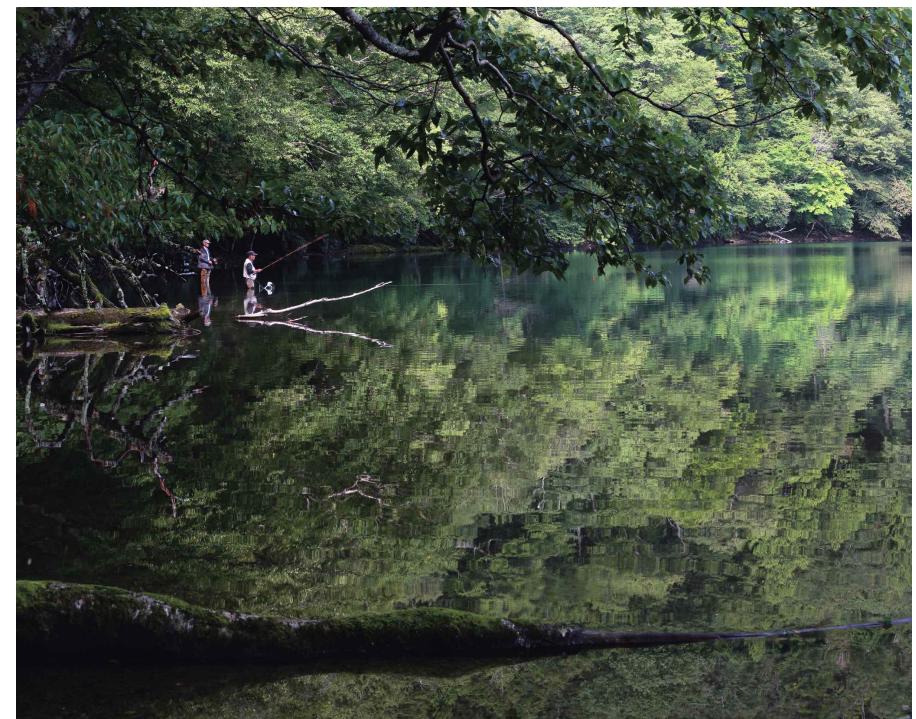
栃木ニコン賞／水辺の朝 A Morning at the Lakefront
(2016年・中内 謙治)



とちまるくん奨励賞／Blue sky Blue lake. Blue sky Blue lake.
(2016年・山野井 雅)



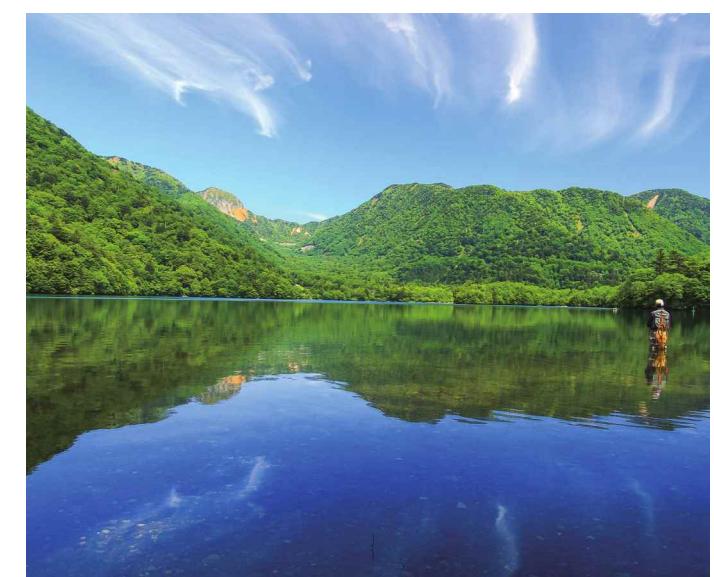
日光市長特別賞／ルアーフィッシング Lure Fishing 〈2017年・江川 清〉



栃木県知事特別賞／緑薰る(みどりかおる) Fragrant Green 〈2019年・志賀 実〉



伊藤園特別賞／
初夏の湯ノ湖
Lake Yunoko in Early Summer
〈2013年・中内 謙治〉



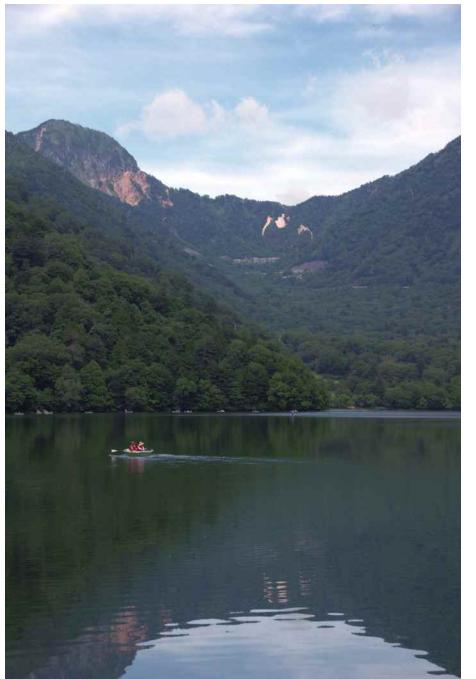
日光自然博物館賞／初夏の湖 The Lake at the Beginning of Summer
〈2018年・山野井 健一〉



栃木県知事特別賞／深緑につつまれ Enveloped in Deep Green
(2018年・鈴木 英子)



栃木県知事特別賞／
静かな時 Silent Time
(2016年・馬庭 卓也)



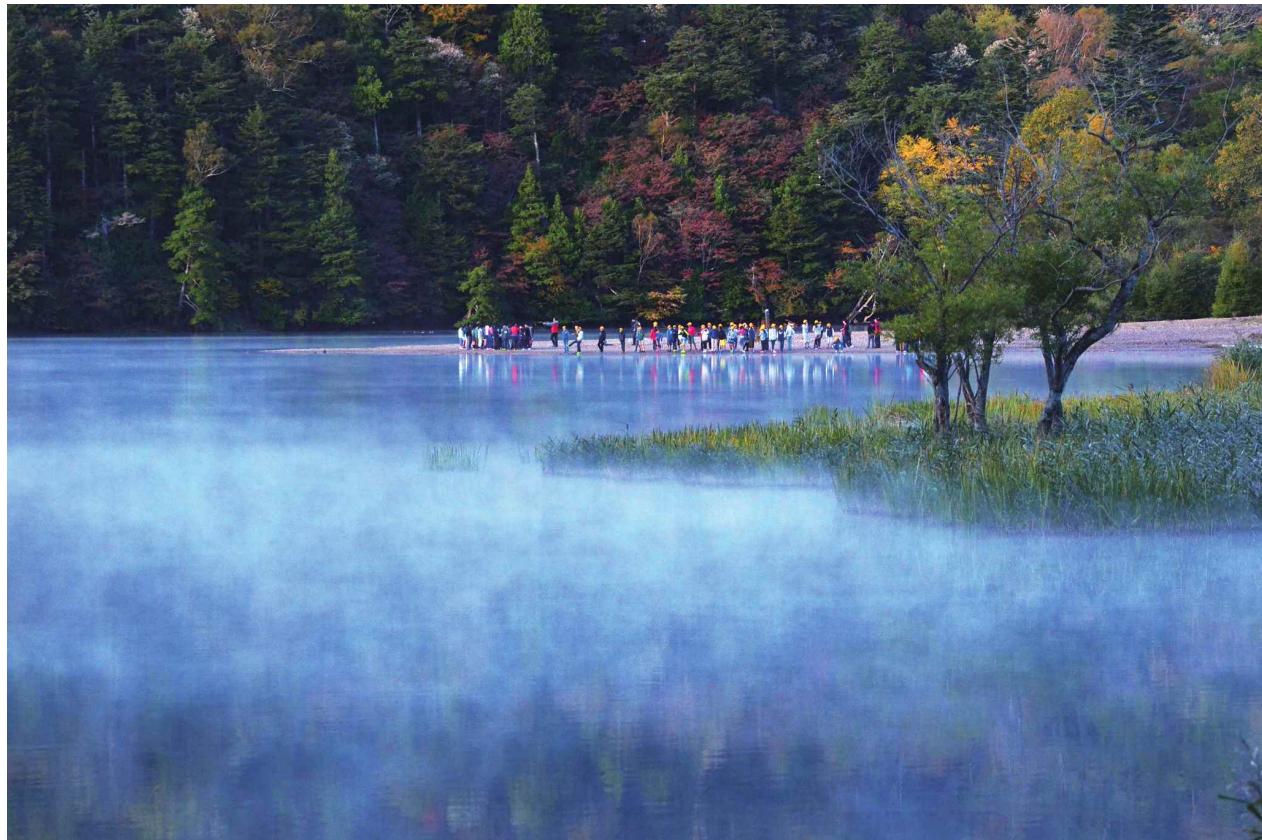
とちまるくん奨励賞／
穏やかな湖畔 The Calm Shore
(2018年・越智 優心)



フジカラー賞／湖畔の彩 Colors of the Shore
(2016年・柏瀬 仁)



栃木二コン賞／秋終 Autumn's End
(2014年・山口 昇)



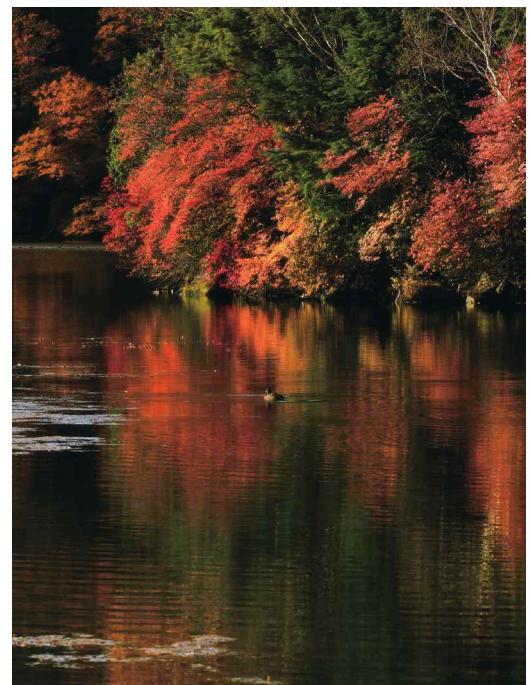
会長賞／清けき朝 Clear Morning
(2017年・鈴木 茂男)



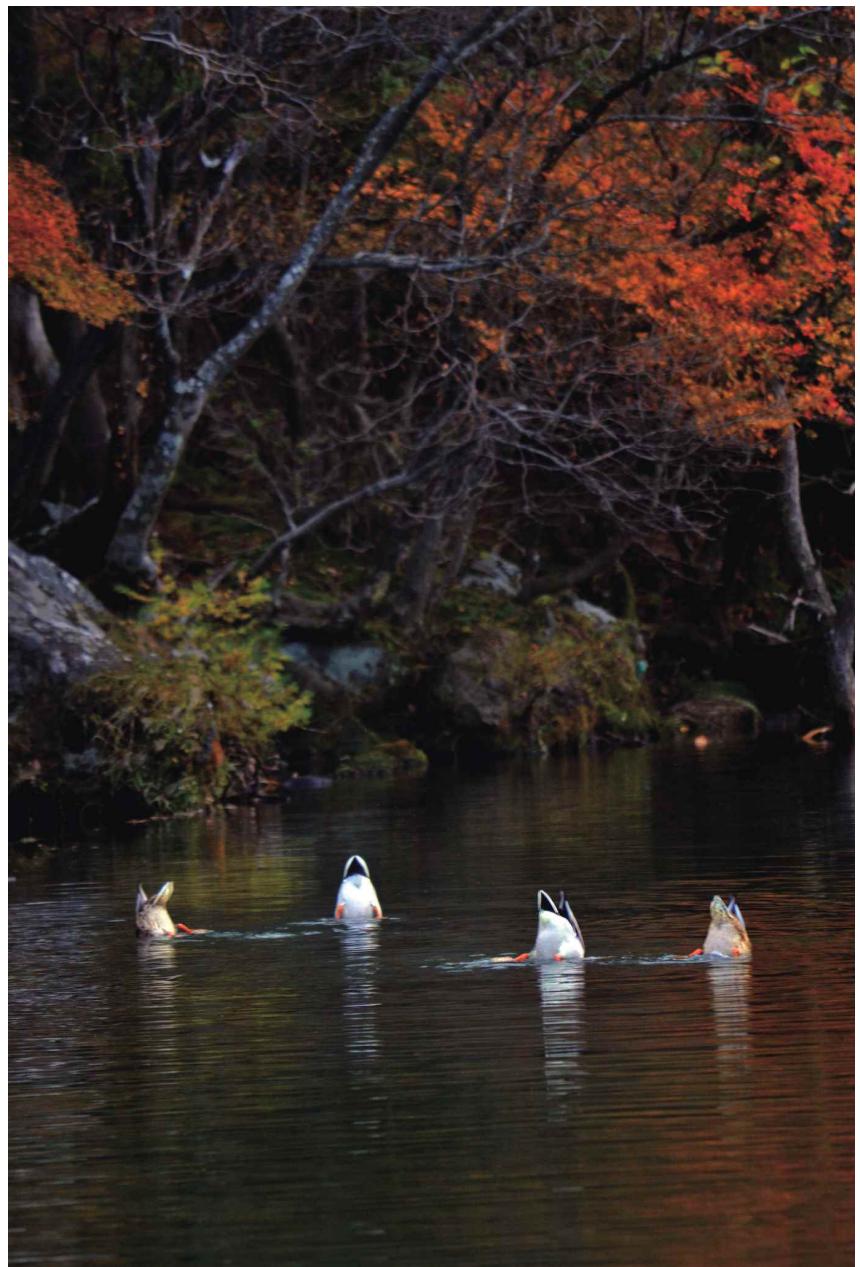
カメラのニシネ賞／
幻想の秋色 Illusion of Fall Colors
(2017年・工藤 充廣)



栃木二コン賞／秋彩 Autumn Hues
(2013年・刑部 誠)



カメラのニシネ賞／
燃ゆる湖畔 The Lake Set Ablaze
(2016年・山野井 健一)



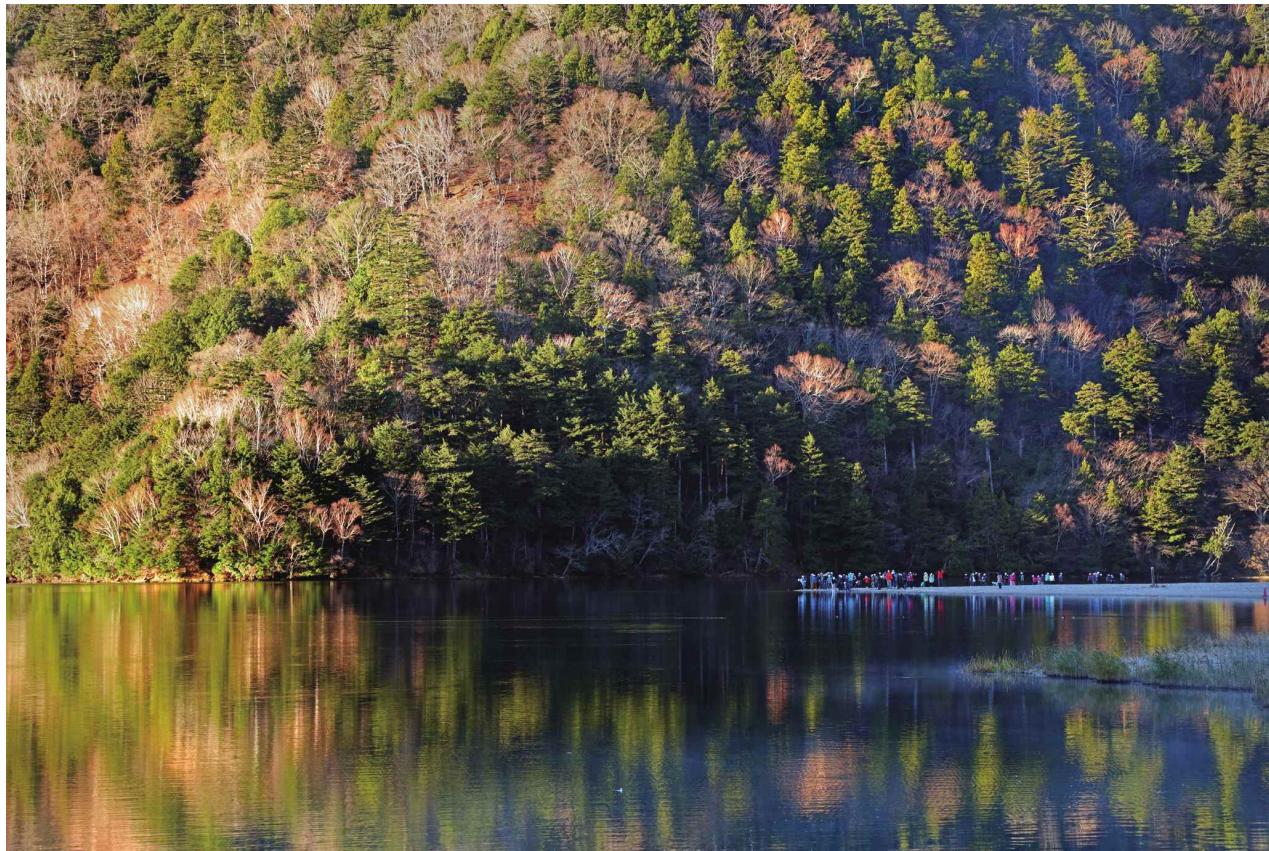
副会長賞／湖上の晩餐会
Dinner on the Lake
(2014年・鈴木 英子)



伊藤園特別賞／水鏡 Mirror of Water (2018年・小野 栄)



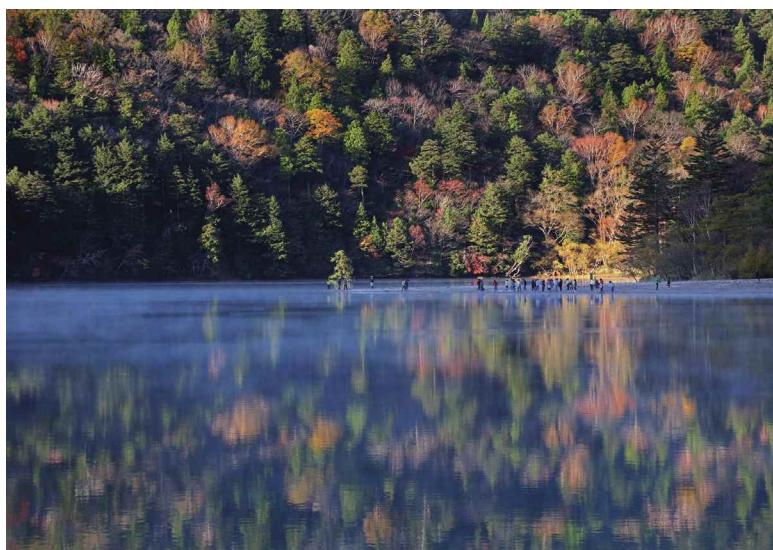
栃木県知事特別賞(ジュニア)／
エメラルドグリーンの湯ノ湖
Emerald Green Lake Yunoko
(2014年・森田 愛理)



副会長賞／晚秋の湯ノ湖
Lake Yunoko in Late Autumn
(2015年・鈴木 茂男)



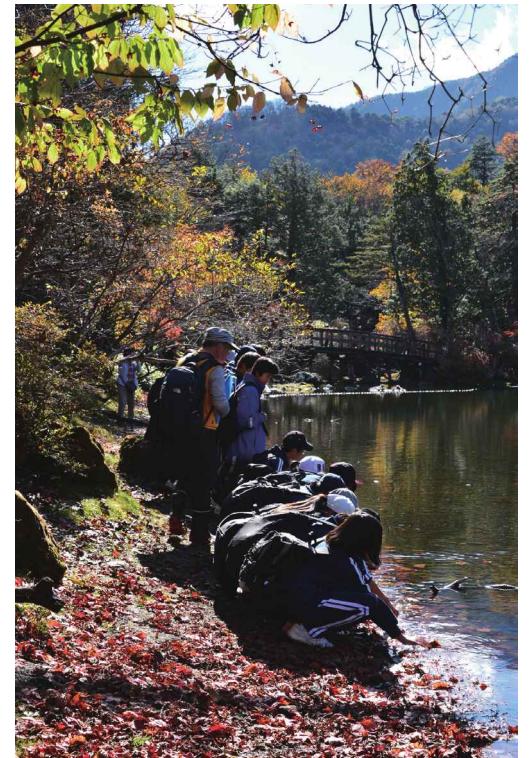
サトーカメラ賞／
錦色に水鳥 Water Birds in Brocade
(2014年・栗城 繁)



サトーカメラ賞／湖上豊秋 Bountiful Autumn over the Lake
(2018年・鈴木 茂男)



副会長賞／思い出を彩る Painting Memories
(2017年・鈴木 英子)



奥日光満喫賞／温かいのかな？
Will it be warm?
(2017年・針谷 喜一郎)



カメラのニシネ賞／
湖眠る The Sleeping Lake
(2016年・近藤 康)



栃木県知事特別賞（ジュニア）／僕が撮った湯ノ湖 Lake Yunoko as Captured by Me
（2013年・塩月 陽大）



カメラのニシネ賞／春を待つ Waiting for Spring
（2018年・笠原 清一）



・湯川（ゆがわ）

湯川は奥日光地域を流れる代表的な河川です。湯ノ湖から湯滝を流れ落ち戦場ヶ原を蛇行しながら南に流れ、南端で竜頭滝となります。その後、地獄川となり菖蒲ヶ浜で中禅寺湖に流れ込んでいます。

湯川の泡

湯川の水の流れがよどんだ場所などで泡のかたまりを見かけることがあります、植物由来の糖類が主な原因になっていると考えられます。泡は、流れが速く、落差のある場所の近辺で発生していると推察されます。



・湯滝

落差約60mのナメ型・スダレ型の滝であり、戦場ヶ原遊歩道からも白い布を張ったように落ちる様を見ることができます。

・小滝

湯滝の下流、湯川にかかる落差約5mのスダレ型の滝です。ゆったりとした流れの湯川とカエデ類の多い森林の中にたたずむ優美な雰囲気を醸し出しています。



サトーカメラ賞／ズミの花咲くころ When the Crabapple Blossoms Bloom
(2015年・大塚 昇)



会長賞／初夏を彩る Painting Early Summer
(2013年・稻見 英明)